

厚生労働省：自立支援プログラム策定実施推進事業 社会的な居場所づくり支援事業を活用した

平成23年度 高知チャレンジ塾における学習支援

生活保護世帯の高知市内の中学校1年生から3年生までの生徒の学習の場を設け、学習支援を継続的に行うことにより、高等学校進学や、生徒が将来への希望をもって進路を選択し就労できるようにすることを目標とする

子どもたちの夢の実現に向けて

就学促進員

- ・中1から中3の生徒のいる生活保護家庭を訪問し、高知チャレンジ塾への参加を促す。
- ・継続して参加できるように、学習支援員と連絡をとりながら定期的に生徒や保護者への働きかけを行う。

学習支援員

- ・教員OBや大学生、地域の方などを学習支援員として、高知チャレンジ塾において学習支援を行う。
- ・子どもたちの実態に即した学習内容を取り上げ、基礎学力の定着を図る。

5地域でモデル的に実施

段階的に広げる

城北チャレンジ塾

場所：小高坡市民会館
日時：火曜日・木曜日
18:45～20:45
生活保護世帯の中学生
学習支援員：5名
(うち1名は安全管理員兼務)

西部チャレンジ塾

場所：西山市民会館
日時：火曜日・木曜日
19:00～21:00
生活保護世帯の中学生
学習支援員：6名
(うち1名は安全管理員兼務)

朝倉チャレンジ塾

場所：朝倉総合市民会館
日時：火曜日・金曜日
19:00～21:00
生活保護世帯の中学生
学習支援員：5名
(うち1名は安全管理員兼務)

南海チャレンジ塾

場所：長浜市民会館
日時：火曜日・木曜日
18:45～20:45
生活保護世帯の中学生
学習支援員：5名
(うち1名は安全管理員兼務)

潮江チャレンジ塾

場所：青年センター
日時：火曜日・木曜日
18:45～20:45
生活保護世帯の中学生
学習支援員：5名
(うち1名は安全管理員兼務)

福祉と教育の分野からバックアップ

【健康福祉部】

社会的な居場所づくり支援事業の活用
予算計上・実績報告等
就学促進員の確保と連絡調整
福祉の視点から家庭を支援

【教育委員会】

高知チャレンジ塾実行委員会への委託
学習支援員等の確保
教材の提供・運営の支援
具体的な学習支援プログラムで生徒を支援

チャレンジ塾 概略

事業開始日

平成23年11月15日(火)

教材

- ①宿題
- ②学校配布のパワーアップシート
- ③学校教育課作成の数学シート

教え方

同一教室で保護世帯・その他世帯分け隔てなく教えている。
教材・レベルが個々人で異なるため、手上げ質問形式で行っている。

現在ボランティア登録が全体で7名
学校教育課の職員5名の協力でサポートしている。

予算

9,905(千円) (セフティネット支援対策等事業費補助金10/10)